

あ と が き

◆前回の第5号は皆様のおかげで特別記念号として発行することができました。ご協力を感謝いたします。つい最近第5号を発行したように思えるのですが、もう1年経ったのですね。まさに光陰矢の如しといった感じです。今年度はキャンパスネットワークの構築、ORIONS（大阪地域大学間ネットワーク）に接続などという学園をあげての事業がありました。せっかく構築・接続したのですからおおいに利用して頂き、教育・研究にお役立て下さい。また、センター年報にも多数の寄稿をお待ちしております。

◆さて突然ですが、本屋さんに足を運んでみるとネットワークのコーナーに人が群がっているのではないですか。電車の中ではビジネスマン風の人が雑誌をみています。ふと目をやるとネットワーク関係の本ではありませんか！今や個人的趣味から企業戦略（ビジネス）に至るまでネットワークが用いられており、まさにネットワークの時代といっても過言ではないでしょう（ちょっと遅いかな？）。某CMではおばあちゃんが「インターネットもできまんねやでー」と年齢に無関係を誇示しています。また、新聞でも最近はずいぶんネットワーク・インターネットといった文字を目にするようになりました。機械が苦手だ、パソコンはわからんとおっしゃる方へ。今どういうことが世の中で行われているか、新聞など刊行物から情報収集ぐらいは最低でも行って頂きたいものです。ワープロより手で書く方が速い、パソコンの表計算より電卓を自分の手で、といった方もおられるでしょう。しかし、時代の流れで電算化が避けられないのです。時代の流れに沿っていく、そのことが全て良いとは決していえません（コストの問題など）。しかし、そこを温故知新の精神で、無駄を少なくかつ時代に取り残されないようにすることがこれから求められるのではないのでしょうか。

つれづれなるままにそこはかたなく書き付けてきましたが、皆様の知識（願わくば技術を伴う）の向上をセンターは求めています。

◆本年度は新規で補助金の交付を受けることができました。関係各省庁、またご協力いただいた教職員、その他の皆様に感謝の意を表すとともに、今後ともご助言、ご協力の程よろしく願いいたします。

最後に、お忙しい中、原稿をお寄せいただきありがとうございました。次回も、よりパワフルは原稿をお待ちしています。

■原稿募集

次のような原稿を募ります。

- ・ 広く計算機に関連した話題をめぐる論説
- ・ プログラムリストまたはプログラミングノート
- ・ 利用者相互の意見、情報交換
- ・ その他、情報科学に関する事項

詳細については情報処理センターまでお問い合わせ下さい。